

沢登り 奥多摩、日原川小雲取谷

◆日程 2015年6月20日(土)

◆メンバー L: 小林、須田

最近、奥多摩付いている。先週も一人で雲取山をテント泊で縦走した。奥多摩の沢には今シーズン2回目である。小林さんが会に復帰してから沢の山行が充実している。年間を通して縦走、雪、岩、沢とオールラウンドに山行を楽しめることはいいことだ。

6月20日(土) 天候:曇り

林道歩きが長いので車で入ることになり、小林宅に5時に迎えに行く。途中、すき家でしっかりと朝食を食べ、奥多摩へ向かう。朝に牛丼を食べるとなかなか腹持ちが良くていい。車止めのゲートがあるため八丁橋に車を停めてここから林道歩きを始める。2時間程歩くと長沢谷分岐で渡渉箇所が出てきたためここで沢の身支度を整える。以前、この辺りで小林さんは三枝さん、中野さんと泊り、焚火をしたという懐かしい話を聞く。沢で焚火などと聞くと、今度は泊りで沢登りに行きたくなった。

沢の水はかなり冷たく、また前日までの降雨で水量も多い。大雲取谷との分岐の手前で大規模な崖崩れの箇所があり、ここで2名の先行パーティーに会う。沢を下降してきた単独行の人

にも擦れ違い、この崩壊箇所はかなり最近できたものだったということがわかった。

大雲取谷の分岐を左に入り、小雲取谷を進むと先程より水量が減ってきた。小滝が続くがどんどん越してゆき、快適な遡行である。6m程の滝を高巻いたところだけ足場が悪く、少し緊張感があつたがロープを出さずに沢に降りる事が出来た。最後の詰めは低い笹藪で、なかなか登山道に出ず、疲れたなあ~などと思っていたらいい感じで富田新道に出た。そこで沢の装備を外すと解放感に浸った。

下りの富田新道は道がふかふかで歩いてとても気持ちがいい。なぜかカブトムシが喜びそうな土だなーと思いながら足裏の感触を楽しみながら下って行った。

予定よりも早く車を停めている八丁橋に着いた。帰路は圏央道を使い、東名も空いていたので快適にドライブできた。



奥多摩は山が深く、緑も濃くて気持ちが良い。多少行き帰りに時間がかかってもまた来たくなる山である。今回も充実した楽しい山行であった。

CT: 8:00 八丁橋～9:50 入溪～11:05 大・小沢分岐～12:50 1520m 分岐～14:15 富田新道分岐～16:25 林道出合～17:20 八丁橋

(記: 須田)

